



【読書】キャラクター「おっほん」

# 札幌市立あいの里東小学校

## 読書センターとしての機能

### 「朝読書活動」

子どもたちの読書の習慣化を図る活動の一環として、本校では、どの学年も、週に1回以上朝読書活動に取り組んでいます。図書室から借りた本を活用して、朝から落ち着いた気持ちで本の世界に入り込んでいる様子が見られます。

### 「図書ボランティアさんによる読み聞かせきらきらたいむ」

また、月に1回程度、図書ボランティアさんが絵本の読み聞かせを行ってくれています。子どもたちの実態に合った本や、季節の本などを紹介してくれています。

### 「図書委員会による読み聞かせ」

本校では、読書週間に合わせて、図書委員会による読み聞かせを実施しました。様々な学年が集まって、大型の絵本を真剣に聞いていました。本に興味をもってもらい、読書に親しむよい機会になりました。



## 学習センターとしての機能

### 「図書室の資料を活用しての学習」

各学年で図書室の本を活用して、国語を中心とした学習を進めています。今年度行った学習の一例を紹介します。

○1年生国語「つぼみ」「自動車くらべ」～図書室の本を使って、図鑑を作りました。

○2年生国語「お気に入りの本を紹介しよう」～図書室の本の紹介カードを作りました。

○3年生国語「鳥になったきょうりゅうの話」～科学読み物を使って、クイズを作りました。

○4年生国語「本のポップや帯を作ろう」～図書室の本を紹介するポップを作りました。

○5年生国語「みんなが使いやすいデザイン」～バリアフリーやユニバーサルデザインについて調べました。

○6年生国語「私と本」～テーマに沿って選んだ本を紹介する文を作り、交流しました。



## 情報センターとしての機能

### 「児童が学習に使える資料の整備」

児童の主体的な学習活動を支えるためには、資料の整備が欠かせません。そしてその資料は子どもたちにとって、親しみやすく、使いやすい本であることが望ましいです。また、学習で使うときには、順番に使うよりも、クラスみんなが同時に資料を読むことで授業が効率的に行われます。そのために本校では、教科書で紹介されている本をセットで購入したり、クラスみんなが同時に手に取ったりして学習できるような冊数を整備したりすることを進めています。

